



「Σはおもちゃです。」

きのくに科学オリンピック優勝を教育長に報告



「第13回科学の甲子園全国大会」の和歌山県予選にあたる「令和5年度第12回きのくに科学オリンピック」にて、2年生環境科学科のチーム「Σはおもちゃです。」(木村匠汰さん、大井一潤さん、鷹野祥希さん、森田悠希さん、東出悠希さん、花岡翼さん、山木大馳さん、山崎煌雅さん)が「優勝」しました。向陽高校のチームが優勝に輝くのは平成31年度以来、2度目となります。このチームは令和6年3月15日(金)～18日(月)に茨城県つくば市で開催される「第13回科学の甲子園全国大会」に出場します。

1月16日(火)、和歌山県庁で宮崎泉教育長に大会の報告を行いました。



集まれ！理系女子

第15回女子生徒による科学研究発表交流会に参加！

2月3日(土)、2年生環境科学科の中村周音さん、三好莉央奈さん、寺井利那さん、吉田夢唯さん、谷口楓さん、山口紗也乃さんが「集まれ！理系女子第15回女子生徒による科学研究発表交流会」に参加しました。この発表会はSSH指定校であるノートルダム清心学園清心中学校女子高校が主催しています。複数のSSH指定校等が参加し、Web上のバーチャル会場(oVice)で発表を行いました。理工系領域を志す女子生徒を育成する効果的な取組に参加させていただくことができました。以下、生徒の感想です。

- 県外の中高校生の方々と交流することができ、よい刺激になりました。変形菌を飼ったことがある方と話しました。飼育方法だけでなく、変形菌の名前やかわいいところも共感し合えました。変形菌がかわいいことを理解してくれる人に初めて出会えて、嬉しかったです。
- 身近なテーマの研究や全く知らなかった分野の研究に触れることで新しく興味が湧きました。また、女性の研究者としてのライフキャリアについて教えていただき、大学進学後について考える機会になりました。
- 大学附属高校の部活での探究活動で、高校生だけではできないような実験や数年間に渡る継続実験を行っていることを聞き刺激になりました。大学院生や研究員の方のお話では今を楽しむのが良い結果に繋がるという言葉が印象的でした。
- 幅広い分野の発表を聞いて、たくさんの学びや新しい発見がありました。このようなイベントに参加したことは私にとって良い経験になりました。

